資料３

令和９年度リーディングプロジェクトの改定について

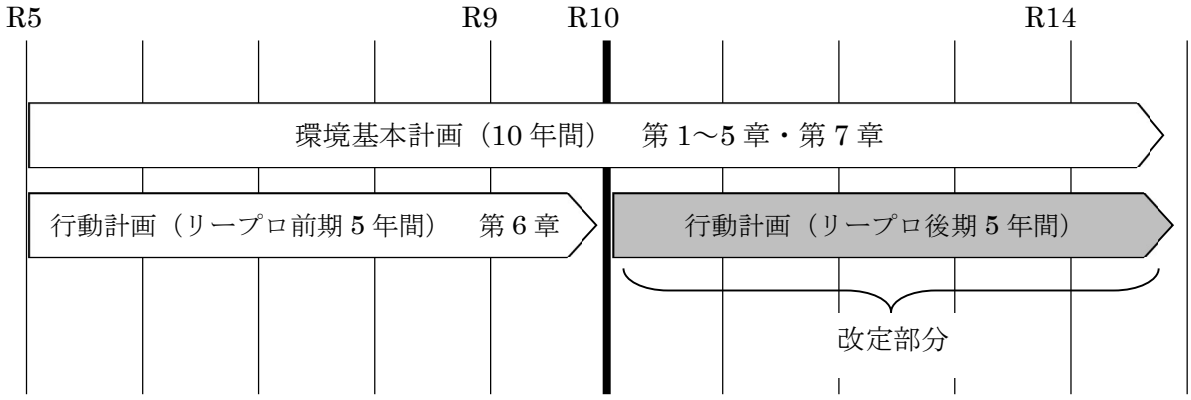
１　経緯

環境を取り巻く状況は刻々と変化するとともに、経済社会の変化や市の取組みについても新たな課題が生じています。

こうした中、令和５年度から令和１４年度の１０年間を計画期間とする第３次光市環境基本計画のうち、行動計画部分であるリーディングプロジェクトについて令和９年度をもって前期５年間が終了することから、後期５年間で優先的かつ重点的に取り組もうとする施策や事業、数値目標等の見直しを行う予定としています。

令和９年度リーディングプロジェクトの改定を行うにあたり、今後５年間を見据えどのような取組を行う必要があるかについて、事前にご意見をいただきたいと考えています。

２　計画の構成



３　改定の視点

（１）前期リーディングプロジェクトの検証

前期リーディングプロジェクトの達成状況や環境市民アンケート結果を評価・検証し、後期リーディングプロジェクトに引き継ぐべき施策や事業を選択する。

（２）第４次光市総合計画を踏まえた展開

令和８年度策定の第４次光市総合計画で示す方向性を踏まえ、今後の環境政策の方向性を検討し、強化すべき施策や事業を選択する。

（３）国等の方針等を踏まえた検証

国の地球温暖化対策計画等で地方公共団体に期待される施策・事業や近年のトレンドから求められる具体的な施策・事業を把握する。

４　次年度のスケジュールについて

（１）環境審議会の開催

【予定】

第１回（４～５月）　委嘱状交付、計画改定方針・環境市民アンケートの説明
第２回（１０月～１２月）　中間案（プロジェクト名・取組みの方向）など
第３回（令和１０年３月）　最終案の報告など

（２）環境市民アンケートの実施（予定）

前期リープロの数値目標の達成状況や市民意識を把握するため、環境市民アンケートを実施し、評価・点検を行う。

●対象：市内に住む１８歳以上の市民から１,０００人を抽出

●調査期間：５月～６月頃を予定

（３）パブリックコメントの実施

プロジェクトの推進にあたっては、市民等の積極的な参画が不可欠であることから、広く意見を聴取するため、パブリックコメントを実施する。

（４）議会対応

所管委員会にアンケート結果や中間案を示すとともに最終案を報告する。

５　具体的な視点について

◎今後５年間を見据えた視点から、どのような取組案が必要と考えるか

例：次世代自動車の普及促進（EV 自動車の購入時補助、充電設備の充実等）

次世代太陽電池の普及促進（ペロブスカイト太陽電池の導入時補助等）